

の心理学者によってなされていることをつけ加えておく。

(1) グッドイナッフ法

① 実施方法

ア、実施上の留意点

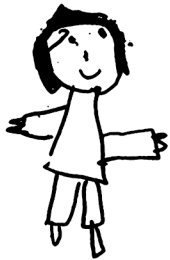
- 基本的には、1対1の個人検査がのぞましいが、集団で行なうこともできる。
- 集団検査の場合には、子ども相互が描画の観察ができないようにする。
- いずれの性の人物画でもよい。
- 21.59センチ×27.90センチの白紙と2Bの鉛筆で消ゴムのついたものを準備する。

イ、指示の方法

- 人を1人だけかいて下さい。
- 頭の前から足の先まで全部かいて下さい。

② 採点方法

例1



氏名	Y・Y	性別	男
年齢	4歳6ヵ月	LQ	田中ビネー98
主訴	自主性がない。		
H-F-D 所見	知的には、ほとんど問題のない児童の描画である。傾斜像であることは、この子の不安をあらわしている。		

- 人物画を表7の採点基準により採点する。
(次頁の図1で採点上の疑問を解明する)
- 基準にあうものはプラス (+) であらわして得点とし、あわないものはマイナス (-) で

表6 得点 (通過項目数) と精神年齢

得点	M A	得点	M A	得点	M A	得点	M A
3	3 : 1	12	5 : 1	21	7 : 1	30	8 : 8
4	3 : 6	13	5 : 7	22	7 : 3	31	8 : 11
5	3 : 8	14	5 : 9	23	7 : 5	32	9 : 2
6	3 : 10	15	5 : 11	24	7 : 8	33	9 : 7
7	4 : 1	16	6 : 1	25	7 : 9	34	10 : 6
8	4 : 4	17	6 : 4	26	7 : 11	35	11 : 6
9	4 : 8	18	6 : 8	27	8 : 1	36	12 : 6
10	4 : 10	19	6 : 9	28	8 : 3		
11	4 : 11	20	6 : 11	29	8 : 5		

あらわして得点としない。

- 女性をかいたものに耳のないことがあるが、これは - とする。
- 採点基準の項目に横向きのものがあるが、該当しないときは空欄にして、得点に加算しない。
- 採点表により + の項目数を加算して、総得点とする。
- 得点を表6により精神年齢 (M・A) を算出する。
- 知能指数 (I・Q) = $\frac{M \cdot A}{C \cdot A} \times 100 = 107$
+ の得点が甘くなる傾向があるので、小数点以下は切捨てた方がよいようである。
- 田中ビネー式知能検査と比べて、例1では、I・Qが9程度高くなっている。
- 例1の人物画を採点してください。解答例は表8にあるので検討されたい。

例2



氏名	S・K	性別	女
年齢 学年	10歳6ヵ月 小4	LQ	WISC 89
主訴	登校拒否		
H-F-D 所見	この絵は、登校拒否児のものであるが、左傾斜図は、非常に内向的な性格をあらわしている。さらに、ボタン、5cm以下の像も内向性と情緒不安定を表示している。		

- 例1にならって、+、-を採点し、I・Qを算出してみてください。